



4月20日(日)は 全市一斉清掃を お願いします

市と市民憲章推進協議会では、4月20日(日)の午前中、「春の全市一斉清掃運動」を行います。町内のみなさんで力を合わせて、地域の公園や道路、側溝などの清掃を行い、まちをきれいにしましょう。

ごみは正午まで集積所へ



土砂・汚泥以外のごみや汚れているびん・かんは、当日に集めます。家庭ごみ用の指定袋に入れ、正午まで町内の集積所へ出してください。

粗大ごみや、土のう袋などに入れたごみは集めませんので、ご注意ください。

当日は、総合環境センター(旧御所野事業所)へのごみの自己搬入は受け入れませんので、ご注意ください。

土砂・汚泥は道路の端に

道路、側溝から出た土砂・汚泥は、土のう袋に入れ、交通の妨げにならないよう2~3か所にまとめて置いてください。

土砂・汚泥は、清掃を済ませたら道路維持課へ報告してください。回収は当日から始めますが、市内全域となるため数日間かかります。ご了承ください。

土のう袋をさしあげます

土のう袋が必要な町内は、必要な枚数を取りまとめ、町内会長さんあてに送った封書を必ずお持ちのうえ、4月18日(金)まで、各地域センター、公民館、土崎・新屋支所、環境部、道路維持課(八橋)へおいでください。ふた付き側溝の清掃に、ふた上げ機をお貸しします。20台と限りがありますので、お早めに道路維持課へご相談ください。

問い合わせ

一斉清掃のことなどごみ収集については...
環境業務課 ☎(863)6631

道路、側溝の土砂・汚泥運搬、側溝ふた上げ機については...
道路維持課 ☎(864)3643

秋田港をキレイに!

フェリーやコンテナ貿易、ポートタワーなどでにぎわう秋田港を、みんなできれいにしましょう。

とき 4月13日(日)から12月14日(日)までの毎月第2日曜日、午前6時30分~7時30分

ところ ベイパラダイス前集合(中島公園)

問い合わせ 秋田港をキレイにする会の高橋茂さん ☎(845)7479

無駄にしないで貴重な一票!
100%への挑戦!!



投票日 4月13日(日) 午前7時~午後8時

投票できるかた

昭和58年4月14日以前に生まれ、平成15年1月3日までに秋田市に住民登録をして、引き続き3か月以上市内に住んでいるかたです。

秋田市に転入したかた

1月4日以降に県内他市町村から秋田市に転入したかたは、前に住んでいた市町村の選挙管理委員会にお問い合わせください。

市内で転居の届け出をしたかた

3月29日以降に、市内で転居の届け出をしたかたは、転居前の住所地の投票所で投票することになります。投票所入場券をご確認ください。

秋田市から転出したかた

昨年12月13日以降に秋田市から県内他市町村に転出したかたで、秋田市の選挙人名簿に登録されているかたは、秋田市で投票(不在者投票)することができます。投票する場合は、引き続き県内に住所があることがわかる「証明書」が必要です。この証明書は、新住所地の市町村役場(住民票担当窓口)で無料で発行しています。ただし、昨年12月13日以降、2回以上転出したかたは投票することはできません。

投票所

投票所は、有権者のみなさんに郵送する投票所入場券でご確認ください。投票所入場券をなくしても、投票所で再発行しますので投票できます。

- 点字投票** 視覚障害者のかたは点字投票ができます。
- 代理投票** 身体の故障などで自ら投票用紙に書くことができないかたは、投票所で本人が申請すると代理投票ができます。
- 開票** 投票日の午後9時15分から市立体育館で。

問い合わせ **市選挙管理委員会事務局** ☎(866)2260
<http://www.city.akita.akita.jp/city/coel/default.htm>

市議会議員選挙

不在者投票

4月20日(日)~26日(土)
午前8時30分~午後8時

投票所 市役所分館4階大会議室
土崎支所 新屋支所
秋田駅西口2階ぼぼろーど

4月20日(日)告示
投票日 4月27日(日)
午前7時~午後8時

不在者投票の際は、「宣誓書」に記入していただきます。印鑑は不要です。

不在者投票にも「投票所入場券」をお持ちいただくと、受け付けが簡単に済みます。

県議会議員選挙

秋田市ホームページで市長の動向や記者会見の内容などをお伝えしています。
<http://www.city.akita.akita.jp/>



市長 佐竹敬久

市長のほっこりコラム

社会人一年生に“考える習慣”を

毎年四月は、新入生や社会人一年生、あるいは転動したての人々の往来が目につき、新鮮な息吹の中にも忙しさが感じられる時期です。特に、今年は統一地方選挙の年にあたり、本市のみならず全国津々浦々で選挙が行われ、北国ではお花見のシーズンとも重なることから、まちは一層にぎやかな様相になります。さらに、株価の安値更新など低迷を続ける経済状況に、イラク戦争・北朝鮮問題など混沌とする国際情勢が加わり、平成十五年会計年度は先が見えない不安感や騒然とした世相の中でスタートしました。

さて、最近とみに感ずることですが、どこの局もワンパターンのテレビのワイドショー番組の高い人気や、少しの思慮があれば引つかからなかったものを、欲の皮が突っ張ったばかりに被害を被った話など、文明の成熟とは世の中の知的レベルが低くなることなのかと思わせるようなことが多くなったような気がします。また、個性を売りものにした商品に群がり、似合う似合わないとは無



緊張と期待の1年生(秋田市役所の入所式で)

関係に、誰もが同じものを手にして自己満足している集団的個性(?)というおかしな流行や、考えているようで実は何も考えていないのではと思われる、横浜市横濱市子川のアザラシのタマちゃんを捕獲したり餌づけしようとした独りよがりの団体の件など、笑うに笑えないような話題が尽きることはありません。日本人は、高いレベルの教育を受け、情報が満ちあふれ、およそ何で

も手に入れることができるようになった反面、逆に物事をしっかり考えることを面倒がるようになり、何事にも思慮深さが足りなくなってきたように感じられます。貧しかったけれども、少し前の時代の格別学歴もない市井の人や、様々な情報を得る機会が少なかった田舎でつましやかに暮らしていた人々のほうが、今の人よりも数段思慮深く、社会への洞察力や分別があったのではないかと思えます。「人間は考える葦である」という、フランスの物理学者で哲学者でもあるパスカルの有名な言葉があります。これは、人間は水辺に生える葦のように弱いけれども、考える能力を持つからこそ、弱くても生存し続けることができるという意味です。特に将来の秋田市を担う大切な社会人一年生の皆さんには、何事も先ずは自分の頭で考えてみるという習性を身につけてほしいと思います。もちろん、今年新規採用になった三十人のフレッシュな市役所職員から率先することですが、